

第十七号昭和卅三年二月十五日発行
毎月十五日一回発行 一部 十円
昭和卅二年十月十八日 第三種郵便物認可

水稲

二 月



第六回漁村青年大会の盛況

兵庫県漁業協同組合連合会



決 議

われらは、漁村青年の責務を自覚し、ますます研究活動を盛んにして、沿岸漁業の窮乏を打開するとともに、漁村文化の向上に努力する。

ここに関係各位の一層の御指導を期待するとともに次の各項について当局の善処を要望するものである。

- 一、遠洋漁業への転換と海外漁場出漁の促進をされたい。
- 二、大型指導船を建造されたい。
- 三、漁場の保護対策を強化されたい。
- 四、われわれ研究クラブの研究活動と水産試験場の調査研究事業を緊密に連繫されたい。
- 五、研究クラブの育成指導のために、水産業改良普及員制度を更に強化されたい。
- 六、多獲魚の加工技術指導の強化と、水産物流通面の改善について積極的な施策を講ぜられたい。

右決議する

昭和三十三年一月十七日

第六回兵庫県漁村青年大会

目 次

決 議	1
第六回漁村青年大会より	2
第四回水産技術改良普及研究発表大会	2
役職員共済制度について	3
お願い	3
タイ国の漁業技術指導から帰って その3	5
ある漁村の中学校の学芸会の原稿	7
編集後記	8

第六回漁村青年大会より

一月十七日午前十時より水産会館に於て約四百人の聴衆が集り、第六回漁村青年大会が行われた。発表者は終始熱心に又聴衆も種々質問を行う等漁村青年の研究実績発表にふさわしい一日であった。実績発表に続いて水産庁瀬戸内海漁業調整事務局長の「研究グループの活動について」の講話があり、審査発表、入賞者の表彰を行い午後五時すぎ散会した。当日発表者の要旨は次の通りである。

アジ曳釣の研究について

郡家滑潮会

従来のアジ一本釣は餌と同游との関係で六月まで操業不如意であったが、これを改良するため、他の漁法について研究したり、新しい漁具の試作を試みた結果、偽餌の採用、漁具仕立の改良によって、漁期を長くし、操業日数を増加し、漁獲効率を増すことができた。

ハマチの立縄釣から漕網釣への改良

福良水産研究会

ハマチ立縄釣の効率をたかめるために、ハマチの游泳層に水平に延縄状に釣糸を流すことに着眼し偽餌、釣具の仕立、操業法（鳴門の特殊な海況を利用する方法）等について研究を行った結果、約三倍の効果を

をあげ、かつ他の魚種（サワラ・アジ・カマス・スズキ）への応用にも成功した。

藻スズキの曳縄釣の動力化について

富島漁青クラブ

藻スズキの曳縄釣は富島地先における数少ない冬季漁業の一つであるが、従来スズキは背に敏感であるからといって動力船を用いなかった。しかし動力船を用い漁具を改良することによって漁獲可能であると考へ、種々改良の結果、動力船を用いることに成功した。また投石礁の効果をも確認した。

エビ漕網の改良研究について

本庄水産青年会

エビ漕網（主としてシラサ・クル

マを獲る）の構造について、四班に分けて研究し、袖網と袋の付根、網の縮結と袖網の仕立、網目と糸の太さ、もどり網の仕立の四点について改良した。この結果漁獲高を五十%増加した。

ウルメイワシ一本釣の改良について

柴山港水産研究会

ウルメイワシ一本釣はサバ一本釣と漁期がかさなるため、従来関心が低かったが、サバの不漁によって重要となった。よって四名のグループをもってこの改良を計画し、鉤の間あい、枝糸、鉤数、口具などについて改良し、漁獲労力を少くするため回転コマを使用するようになった。

発電機使用による夏イカ漁と灯火の関係について

香住水産研究会

但馬沖における夏イカ釣（スルメイカ）と灯火との関係について研究した結果、イカが半影部に好んで集る事実に着眼し、灯火の明暗の調節やその位置を適當にすることによって漁獲を増すことができた。

イカナゴぱち網の改良

育波育水会

地先漁場の特殊な海底地形に漁具を適合させ、漁獲効果をたかめる目的をもって、網の仕立及び沈手について研究した。また網目（もじ網）についても大きくする方がかえって効果的であることを立証した。

タコ一本釣漁業における釣具の色と漁獲について

林崎漁協青年部

タコ一本釣の釣具（偽餌にヒガンバナの球根を使う）の漁獲効果を増加しかつ製作の労力を少くする目的で、コイルタール布まき（従来の方法）と色彩ビニールでまく方法とを比較するとともに、ビニールの色彩効果を種々の条件下で比較した。結果は、黄色ビニールが概して好結果を示した。

サワラ底曳釣の研究

明石浦漁協青年部

サワラ一本釣の漁獲効率を増加するために、サワラの曳縄釣にヒントを得て、サワラの游泳層にあわせて底層を漕ぎながら曳く釣具を考案し、これを実用化した。

底曳網漁業に於けるロープ巻取機の考案

飯屋水産四日クラブ

労力を節減するためにローラーで巻揚げたロープの仕末（わがね作業）を機械的に行うことに着眼し、ローラーに同調して回転する巻取機を考案した結果、乗員を四人から三人に減ずることができ、かつロープの耐久性を増すことができた。

噴流式洗魚機の作製

柴山港水産研究会

加工原料とする鮮魚を洗う方法を改良するために、電気洗濯機にヒントを得て、少電力、少労力でしかも品いたみの少ない洗魚機を製作することを目的として、プールセーター・容器（槽体）等について工夫をこらした結果、一たんは行詰りになったが、最後に横板を取付けることによって試作に成功した。

バカ貝蓄養試験より得たる収獲について

生穂漁青クラブ

バカ貝は豊凶の変動がとくに激しい貝類であるが、この原因を探求し、資源を管理する方法を発見する目的をもって、金網製の蓄養かご（2.9×1.9×0.35m）をもってバカ貝（成貝）を蓄養し、その生態を観察した。また漁場を調査して発生、成育に関する自然条件を考察した。

小型漁船の活魚槽の改良

飯屋水産四日クラブ

漁獲物の鮮度を維持し、魚価をかめるために、小型漁船の活魚槽の給排水口外側の船底に「三角板」を取付けることに着眼して、数種の取付方について水の循環効果を比較試験した。

煉製品の腐敗防止の研究

香住水産研究会

ねり製品原料及び製品の腐敗を防止又は鮮度を保つ時間を延ばすために、ネオフラスキンとオキシフルの腐敗防止効果について比較試験を行った結果、生産を増加するとともに出荷範囲（販売市場）をひろげることになった。

経営面からみた底曳網漁業用ロープについて

柴山港水産研究会

底曳漁業の資材のうちでロープは大きな割合を占めるので、経費の節減をはかる目的で、その一部に再生ロープを用いることに着眼し、昭和二十七年以来、五年にわたる研究によって再生ロープを経済的に使用する方法を考案した。

沿岸漁業における大型船の必要性と建造資金について

香住水産研究会

一本釣漁業の漁場がひろがるにつれて、沿岸漁業の漁船の大型化は一般的傾向である。漁船の大型化による収益の増加と、これに要する建造資金の入手滑化をはかるために統計的考察を行うとともに、資金積立の方法として十二割貯金提案する。

漁閑期の副業について

東二見漁協青年会

「沖組」（東二見における漁業の共同経営体、その発達過程はかつて十五人組として本大会に参達した）において閑漁期に漁業わら縄を共同自家製造することを実施し、数年間これを逐次動力化して、所要量の80%以上を自給することに成功した

第三回水産技術改良普及研究発表大会

二月二十六日から三日間

農林省大会議室で開催

水産庁主催第四回水産業改良普及研究発表全国大会を、来る二月二十六日から三日間開くこととなった。この大会は沿岸漁業の振興のために全国の漁村にある研究会の代表者が集まって、活動の成果を発表することにより、相互の知識交流をはかるとともにその活動をひろく内外に認識させ、グループ活動の発展をはかり、漁業経営の合理化を促進しようとするもので、課題は、漁業・養殖業・加工

の三部門に対する技術及び経営に関する研究とし、発表者は予め開いた都道府県における発表大会で、第一位のもの一名と、第二位以下で第一位と研究部門が異なる最優位のもの一名計二名を都道府県から推せんし、その内から約四十名を中央の審査委員会で選定することとなっており、一人の発表時間には十三分以内である。本県出場者は「ハマチ底漕縄の研究について」福良水産青年会河野竹男「噴流式洗魚機の考案について」柴山港水産研究クラブ大西誠

役員共済制度について

本件に關します国庫補助金約七千万円(二十二日現在最終金額未定)が確保されました。この七千万円の予算は要求額七千万円(長期給付金補助四千万円、事務費補助三千万円)に比して極めて少額ではありませんが、七千万円のうち長期給付補助金は法案審議迄保留し、事務費補助のみ単価引下げの形で七千万円計上され政府が再国会に本法律案を提出するについての予算の裏付をつくり、名実共に体制を確立した意義をみるのであります。然し乍ら本問題は今後多くの曲折が予想されますので、系統役員が真に自らの問題として、これを獲得するために、中央既定方針通り先般お願い申し上げました、有給役員一人当り百円の運動資金を果漁連宛に御納付下さいませよう御願ひ申し上げます。

- 一、農業協同組合法(22年法律第一三二号)
- 二、森林法(26年法律第二四九号)

- 三、水産業協同組合法(23年法律第二四二号)
 - 四、農業災害補償法(22年法律第一八五号)
 - 五、漁船損害補償法(27年法律第二八号)
 - 六、土地改良法(27年法律第一九五号)
 - 七、農業委員会等に関する法律(26年法律第八八号)
- 以上に基づき設立された法人
- 又第十三条では
農林漁業団体又は組合に使用される者で農林漁業団体等から給与を受けるものはすべて組合員とする。(※此の事は前にお送付致しました法案要綱のうち五人未満は任意加入になつて居りましたが、五人未満も強制加入になります)但し次の一に該当するものは除く
 - 一、常時勤務に服しない者
 - 二、臨時に使用される者
 - 三、船員保険の被保険者(※但し船員保険との継続関係は検討中)
 - 又第十五条では任意継続組合員制度をもつております。
- これは組合員である期間が十五年以上である組合員が退職、失職(

生存脱退)して資格を喪失したもののから、資格喪失した日より三ヶ月以内に申し出があり規定の掛金を納付した場合は、組合員となる事が出来ます。

第三章では短期給付(保健給付、休業給付等)を除外し、長期給付(退職給付、廃疾給付、遺族給付)のみを規定しています。

第五十三条には
組合員及びその組合員を使用する農林漁業団体等は、規定による掛金を負担する。ただし第十五条(※任意継続組合員)による組合員は全額を負担する。
規定により組合員の負担する掛金の最高限度は、当該掛金の折半額とする。

又附則1で施行を三十四年一月一日としており
附則10では
組合の設立の日の前日において厚生年金保険の被保険者であつて組合の成立と同時に組合員となつた者の厚生年金保険の被保険者であつた期間(その期間の計算については、厚生年金保険法「昭和二十九年法律第十五号」の規定による。)には、この法律の適用については、組合員であつた期間とみなす。

なし、これとその者が組合員となつた後の組合員である期間とを合算する。

以上のような事が規定されておりますが、此の法案は未だ多少の修正が可能であり、又国会審議過程でも修正の機会がある事と思われれます。尚今般きまりました七千万円の予算の内訳は次の通りであります。

○事務費補助金 5,000,000円

○組合員1人当り100円20万人分
初年度3カ月分
 $20,000人 \times 100円 \times \frac{3}{4} = 5,000,000円$

○初年度掛金 5,000,000円
(事務用品、机、電機具、電話、印刷等)

お 願 い

拓水を各組合へ一括してお送りしておりますが、婦人部並びに青年部の御座居ます所は御手数ですが御配布下さいますようお願い致します。

タイ国の漁業技術

指導から帰つて (その3)

不成功に終わった巾着網の試験操業

我々の精一杯の努力にもかかわらず巾着網試験操業の結果は、正直なところ期待に反したものであった。

漁撈作業に全く向かないタイ国人漁夫の扱いにほとほと手を焼いたこと、又これが操業に大きな支障にな

ったことは、前回で述べたが、勿論、失敗の原因はこうした人間関係のほかいろいろとあったわけで、海況とか魚の習性などに対する基礎的な研究が十分でなかったことも見逃すことはできないと思う。

一口にタイ湾といってもめっぽう広い海域だし、海水の温度や海流などは四季の変化は余りないとは言え、マレー半島にぶかった北赤道海流の垂流は、大きな環流となつて湾内で複雑なコースを描いている。ことに湾の水深は、中央最深部でも七十五米に過ぎないということでは全

と見えて干満の差が激しい、それに熱帯性の季節風が強く、海流と潮と風と波は馴れない我々にとって仕末の悪い状態になることがしばしばあった。

巾着網でねらう魚はどうしても密集していないと工合が悪い、それに魚群探知機が利用できるとしても、浮き上がっているのをめがけて仕事をすることが一番やり易いことに今度のような場合には魚探に頼り切るだけのゆとりはまだ持てないのが当り前だといつてよい。ところが、実際に操業してみると、あてにしている魚「プラトウ」は余り濃い群れを作らないし、昼間は浮上しないことが判つてきた。これは規模の大きな巾着網にとっては、能力發揮の点からみて致命的な打撃であった。いやしくも漁師であれば、魚の「



漁の大「チャラン」

もらし、慎重に旋網ノ素晴らしに入り込みで獲れた魚は「プラトウ」でなく、「チャラン」と呼ばれる魚で市場では余り歓迎されない代物だった。獲れないよりはましだともいえるが「プラトウ」と「チャラン」の区別もつかないようではお話にならない。

イロを見れば、それがイワシであるかイカナゴであるかの区別がつかないようでは商売にならない、だが悲しいことにここではそれすらわからなかったのである。

魚が思うように獲れず少々くさり気味のある日、船の行手間近に美事な「イロ」を発見した、これはいける、待ちに待った大群と快心の笑をウは沿岸の浅いところが好漁場であった。ところが沿岸には至るところにタイ国の主要漁業である「ポウ」と称する漁具が設置されている。これは、木や竹を海底に突き立てて罟を作り、魚をその中に陥入させて漁獲する定置漁業で日本でも内水面や浅海でときどき見られる魩のような漁具で古くなって水面にほっ

であるので現場に馴れない我々は手の施しようもない。連日網をとられ、わざわざ修理をするのに出漁して来たような態状を続けた。ときには、網をはずすのに一日がかり、終にバンコックまで引返さねばならぬ羽目に陥ったこともあった。

こんなときには仕事の合間に二人は申し合せたように、汗とも涙ともつかないよごれた顔を、鉢巻のタオルでしごき、お互いに労りの視線を交わしたものだ。

操業中、我々はタイ国の巾着網とよく出会った。彼等のやり方は一見能率的には見えないようであって、その実、海況、魚の習性等に適合した合理的なものであるといえる。

漁撈単位は一隻ずつの網船と曳船で、網船の方は三トン程度の無動力、曳船は二十トン位の動力船で、まるで内海の遊覧船の如き作りである。二十人位の乗組員は航海中は曳船で寝起すようになっていらいしい。魚群を発見すると漁夫は網船に移り、手漕で魚を旋く、船は小型であるが波切りがよく、漁具も小規模であるため作業が実に要領よく片付けられて行く、乗っている連中も、どうやら生え抜きの漁師が多いのだ

ろう。同じタイ国人でありながら、こちらの会社が雇っている連中とは質が違うとしか思えない。

投網から揚網までの所要時間が短かく、我々の操業からみるとまるでハシケとモーターボートの違いである。だから、魚群が薄いことなど構わずに繰り返して操業できる強味がある。

最初二隻旋でやっていた我々も、操業を切り上げる一カ月ほど前から一隻旋に切り替えたが、時すでに遅く、当初計画していた六カ月の滞在期間を一カ年に延ばした甲斐もなく、昭和三十二年二月漁期終了と同時に期待していたほどの成果をみないまま操業を打切った。

漁船、漁具あるいは漁法にも検討を要する多くの問題があり、我々の気付いたことを参考までに掲げておこう。

○船体の構造からみた欠陥

乾舷が高く船体が頑丈でない。したがって少し海が荒れると船が自らを失い操業不能となり、二隻旋では船体破損の危険が伴った。どうしても巾着網専門の漁船でない駄目である。

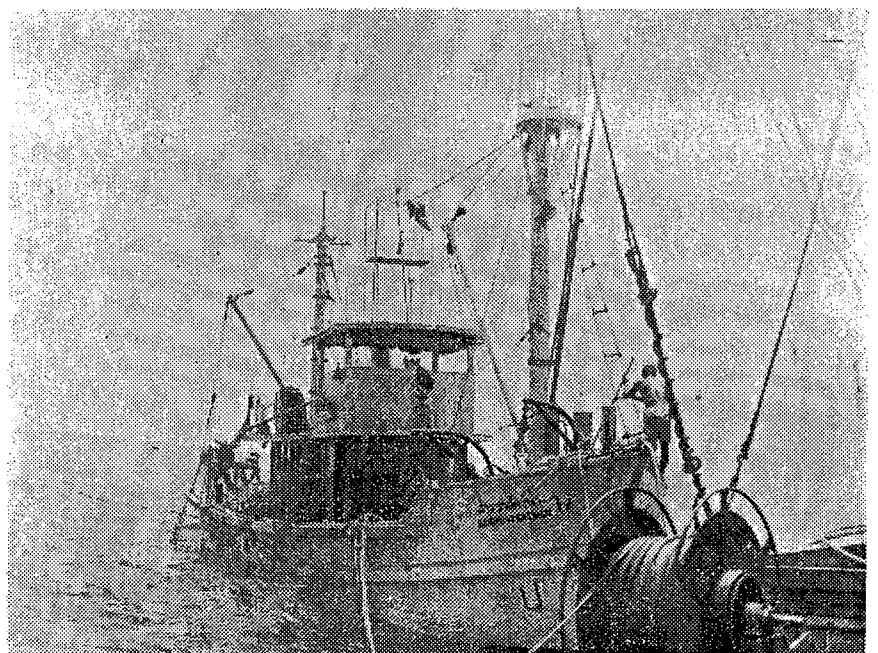


図 業 操 巾 着

る方式をとったが、網に無理な力が加わりよくなかったばかりでなく、棒網になつてよく捌けないため刺魚の取りはずしがますます困難となり、更に投網の際環喰いを起し網が抜がらないことがしばしばあった。漁具が改良され、技術がもっと向上するまでは、人力による横曳揚網の方がよかったと思う。

○漁具について

海況及び魚の習性からみて漁具の規模が大き過ぎた。網の目合も適当でなく、網目に魚が引っかき、これをはずすのに苦勞した。

○漁法について

労力の節減のため、網を船尾からデリックとドラムによって巻揚げ

○その他

手船は操業上なくてはならないものである。これがなかったため網成りを直すことができず、巾着網としての効果を發揮できなかった。現地人の使っている小型の、自由の利く網船ならともかく、大型の網船には、附属の小型船がどうしても必要である。(次号へ)

ある漁村の中学校の学芸会の原稿

漁村で日常行われている事を取りあげて一つの物にまとめ、漁業協同組合を中心とした漁村のあり方について解説的な物を取り入れている所が面白く思われましたので、取り上げてみました。

漁村の朝の情景

あたりはまだほの暗く、静まり切った港、パン、パン、パン、パン…隻の漁船の爆音に、一犬ほえて万犬伝うのように、次ぎから次へと音を立て、沖の漁場に消えて行く。

今、まさにともづなが解かれんとする一艘の漁船、夫に何か伝えんとするおかみさんのかん高い声が、一際耳元にひびく、これは政夫達の住む漁村の朝の出漁の情景である。

この村は三方山にかこまれ、平地で田畑と名のつく土地はほんの僅かばかり、後ろの山は段々畑でさつまいもや麦が作られているが大したことはない、二百軒程ある村の住民は小さな漁業で生活している。瀬戸内海の或る零細な漁村である政夫の父多助は浜に立って我子の政夫に語っている。

父 『わし等の小さい頃は、この港の波

漁具で魚を獲った。戦争が終ってからは、海外からの引揚者や都会からの引揚者は大勢、村に帰って来て手つとり早い漁師になった。

それだけでなくさえ漁師が多過ぎて困っているこの狭い内海にこれらの人を加えて大勢の漁師がひしめき合

って、海の底をかき廻す底曳網や、ひっかけ漁業などでかき荒したもんだからたまったもんでない。魚がふえるより、取る方が多くなつたのが一番大きな原因だなあ

それに又、近頃は沿岸地帯に大きな工場が沢山できて、ここらは魚に害を与えるような悪い水がどんどん海に流れて行く、又アメリカ当りから伝つたと云われる新しい農薬もお百姓さんに多く使われるようになったのでこの水も海に流れると、岸近くの浅い所に住んでいる、小さい魚の小供は育たなくなる。このように、いくつもの原因が重り合ったからだよ』

政夫 『それでは漁業も、お父っさんの子供の時分に比べると随分変わったらうね』

父 『そうだよ、大きな網漁業がなくなつて、皆んな四馬力や五馬力の発動

機をつけた小さい漁船で親子二人乗り込んでする底曳網だとか、一本釣だとか、延縄だとか、たこ壺だとかいったような、小さい漁業に変わってしまったよ。』

このような話が、浜で政夫親子の間にいつ迄もつづいていた。

政夫の家も、父の多助と兄の浜吉との二人が乗り込んで働かねばならぬ一本釣漁業者であった。

今しもこの船が沖に向って出かけようとするとき、妻のおたねは、これを送る為に船のそばにやって来た。

おたね 『お父っさん、今日は風が少し出て来たから充分気を付けてな、浜吉も風邪を引かぬようにな、風呂を沸して待っているから早く帰りよ』

父 『オーおたね、それでは行ってくぞ、家のことをたのむぞ』

船は静かに、白波を立てて漁場を目ざして沖の方に進んで行った。

せり市の情景

夕方、先頭の一漁船が漁獲物を積んで機械の音も高らかに浜に帰ってくる。続いて何艘も何艘も元気に帰

ってくる。

村の中央の海岸に漁業協同組合の事務所が建っている。組合のせり市人が、事務所のそばに建っている漁獲物共同販売所の一段高いせり台に長い棒を持って立っている。帰った漁船から、漁獲物を籠や小箱にいれて、せり台に載せられる、タコ、エビ、カレイ、アナゴなどいろいろの魚がピンピンはねている。

せり市人は、どら声で「エエ、これなんぼうや、これなんぼうや、五〇五〇、六〇六〇、六〇五百、六〇五百魚常」と長い棒で魚を押しやる。

こうして漁獲物が魚商人の手に売りさばかれて行く。魚商人は、せり市台の周圍に大勢立ち並んで、手早く指を三本上げた

り、四本出したりしている。せり市人のそばに帳簿係が浜帳に、それぞれ落札者毎に、漁船の名とその金額とを記入している。さすがわなれたもんだ。このようにして何拾艘という多くの漁船から上る漁獲物は次から次へと、あざやかにさばかれて行く。

この村の発達は漁業協同組合が中心

この村の発展は漁業協同組合の活

動の如何によるのである。漁業者の獲って来た漁獲物は、先づ、組合の販売所で、全部取扱われている。これを組合の販売事業と言う。

又、漁業に必要な石油や、網や、ロープなどの品物は総て、組合が一括して安く仕入れて、これを漁業者の必要に応じて販売している。

この事業を組合の購買事業と言う。漁業者の貯金は、組合で利子をつけて預っており、又、漁船を造ったり、漁具を買入れするのに資金が不足しているときは組合から借りる。

この事業を組合の信用事業と言う。この三つの事業をこの組合で行っている。

主婦は漁獲物の水揚通帳を持って今日の漁獲の記入をしてもうするため今日組合に行き、組合ではこれを記入して、網代や、石油代を差引いて、残りのお金を渡す。この村の二百軒の家と組合とのつながりはこうして毎日のように切っても切れぬ間柄となっている。

この外組合では、漁業のとりきめや、漁場の調整を初めこの村の漁業を盛にするために必要ないろいろの事業をやっている。

最近この村にも漁協婦人部が設立せられてからおかみさんや、娘さんの貯蓄事業や、石けん、ハミガキ等の日用品の購買事業も婦人部の手で行われ、貯金事業では俗に拾円貯金と云って毎日拾円宛を組合に貯金するのであるが、できてからまだ日が浅いにもかかわらず、八拾万円もの貯金が出来たそうである。

この村の青年会の活動も近頃、一きわめだつて活発になった。四、五人づつでグループを作り新しい漁具を作ったり、漁法を改良したり、貝類の増殖などについて一つの研究問題を打ち立てこれについて、みんなの力でこの研究をして、村の漁業の発展に尽そうとしている。既にいくつかの問題を解決して村の人々から大へん感謝を受けている。

新しい村作り

こうして今、政夫の村では、村長さんや漁業協同組合の組合長さんや、婦人部長さんや青年会の会長さん等が、各々自分の持ち場、持ち場に一生懸命に働いています。

それで村の人々も、みんな一つの心になって、真げんに村をよくしようとして努力しています。一時はどん底生活に落いった。こ

の村にも今は輝かしい希望が満ち満ちて、明るい漁村に日々変って行きつつあります。やがて見違えるような立派な漁村に生まれ変わる日も遠いことではないでしょう。

編集後記

暦の上ではもう立春も過ぎましたが、春にはまだまだと言った今日此頃ですが、漁村の皆々様いかがお過ごしですか。

一昨年韓国艦艇に拿捕された濱坂漁協の門脇さんが此の程相互釈放の第一次帰国で帰って来られました。同乗の宮本さんは第一次では帰っておられませんが、今後引続いて行われま

われらの漁民銀行

兵庫県信用漁業協同組合連合会

会 長 島 田 文 治 郎

本 所 兵庫県立水産会館内 直通電話⑥0193
但馬支所 香住町字中浜頭 香住125

購 買 品 は 漁 連 で

兵庫県内海漁業協同組合連合会

会 長 三 浦 清 太 郎

本 部 兵庫県立水産会館内 直通電話⑤3424—5
明石油槽所 明石市船町 明石3207
富島油槽所 北淡町富島 富島 66
仮屋出張所 淡路町仮屋 仮屋 59

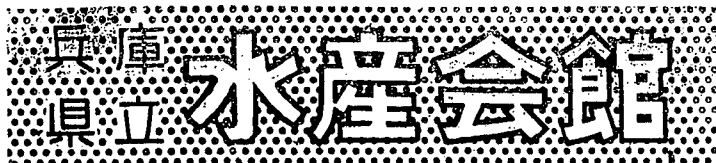
購 買 品 は 系 統 利 用

但馬漁業協同組合連合会

会 長 西 上 重 弼

城崎郡香住町香住 電話香住 154

神戸市兵庫区
新在家町



電話⑤8301(事務所)

電話⑤9563(宿泊所)